

広瀬川創生プラン・平成17年度重点事業評価票

【重点事業の計画概要】

【重点事業1】	広瀬川フォーラムの開催	
事業の説明	広瀬川をテーマ、活動のフィールドとしている市民活動を紹介し、多様な市民の参加を促すためのフォーラムを開催します。	
事業を協働する団体	広瀬川市民会議、仙台市	
目 標	数値で表すことのできる成果	活動発表・ワークショップを開催する市民活動団体数20団体、参加市民数2,000名を目指します。
	数値で表すことのできない成果	市民活動の拡大と参加市民数が増えることを目指します。
事業スケジュール	平成17年度	9～10月 広瀬川フォーラムの開催
各主体の役割	市 民	フォーラムに積極的に参加します。
	NPO	フォーラムを企画し、運営します。
	行 政	フォーラムの開催を広く市民に呼びかけます。
	企 業	フォーラムの開催を支援します。

【自己評価シート】

段 階	No.	評 価 項 目	評 価
計 画	1	事業の目的は明確ですか	5
	2	多様な主体が参画できるようになっていますか	5
	3	事業に対する市民ニーズはありますか	5
	4	社会への波及効果や相乗効果を検討しましたか	5
	5	主体間での役割分担を明確にできていますか	5
	6	成果や目標は明確ですか	5
	7	事業の実施計画や収支計画をつくりましたか	5
	8	各主体の立場を理解、尊重することができましたか	3
実 施	9	目標に向かって事業を実現しようと努力しましたか	5
	10	各主体の役割分担を果たしましたか	5
	11	各主体間の協力や連携は良好でしたか	3
	12	必要な時期に情報交換しましたか	3
	13	課題発生への対応は迅速でしたか	4
	14	事業内容の報告をつくり公開しましたか	5
終 了	15	事業の成果目標は達成できましたか	2
	16	市民の満足度は向上しましたか	3
	17	社会への波及効果や相乗効果はありましたか	3
	18	各主体の協働事業に対する理解が深まりましたか	3
	19	事業の規模や予算は適切でしたか	4
	20	今後の課題や改善点について話し合いましたか	5
総合評価		評価合計	83
		評価平均	4.2

チェック項目を5段階評価

「はい」	5
どちらかといえば「はい」	4
どちらともいえない	3
どちらかといえば「いいえ」	2
「いいえ」	1

記入日	平成17年12月9日	
記入者	所 属	仙台市建設局百年の杜企画課広瀬川創生室
	職 名	主任
	氏 名	相澤浩行

【重点事業の実施概要】

実施事業	広瀬川フェスタ(野外イベント、広瀬川シンポジウム)の開催	
実施内容	広瀬川に関わる市民活動をまとめて野外で紹介する野外イベントと、上流域・中流域・下流域での活動を紹介し意見交換する広瀬川シンポジウムを開催した。	
事業を協働した団体	広瀬川市民会議、仙台市	
実 績	数値で表すことのできる成果	市民活動団体:6団体、参加者数:592名。
	数値で表すことのできない成果	
実施日	平成17年度	野外イベント10月1日、広瀬川シンポジウム10月2日開催
各主体の役割実績	市 民	広瀬川フェスタへの積極的参加。
	NPO	広瀬川フェスタへの参画
	行 政	広瀬川フェスタの広報・企画・運営
	企 業	

【自己評価】

実 績 結 果	
成果目標の達成状況	・目標としていた市民活動団体20団体に対して6団体、参加市民数2,000名に対し592名と大きく下回る結果となった。
実施上の問題点	・平成17年度の重点事業を決定するうえで、広瀬川創生プラン策定推進協議会の協議を経て、「広瀬川市民会議」に事業の企画・運営について承諾を得たが、その後、平成17年度に入ってから重点事業の企画・運営に関する協議を申し入れたところ、企画・運営業務を担うことが困難であるとの回答があり、全体の見直しが必要となり、その対応に時間を要した。
自己評価結果	・成果目標の達成状況が示すとおり、広範な協働を引き出せなかった。 ・重点事業設定時と事業の準備も含めた実施段階における状況の変化はあったものの、プラン推進初年度における実績としては、非常に残念な結果となった。
今後の課題	・実施主体となる各主体(NPO・行政・企業)が事業内容の具体化、実施時期等について、早い時期から調整することが必要である。また、各主体の役割について、相互理解を図る必要性がある。

広瀬川創生プラン・平成17年度重点事業評価票

【重点事業の計画概要】

【重点事業2】	広瀬川ホームページの充実	
事業の説明	広瀬川に関する市民活動のポータルサイトとして活用されるよう、広瀬川ホームページ (http://www.hirosegawa-net.com/) の充実を図ります。	
事業を協働する団体	広瀬川市民会議、仙台市	
目 標	数値で表すことのできる成果	1日あたりのトップページアクセス数が100アクセス以上となることを目指します。
	数値で表すことのできない成果	広瀬川に関する市民活動百科事典として活用されることを目指します。
事業スケジュール	平成17年度	4月 一部リニューアルを図ります。
各主体の役割	市 民	積極的に活用するとともに、意見・提案を投稿します。
	NPO	広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供するとともに掲示板への照会・意見に対応します。
	行 政	広瀬川関連事業に関する情報を提供・公開します。
	企 業	広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供します。

【 自 己 評 価 シ ー ト 】

段 階	No.	評 価 項 目	評 価
計 画	1	事業の目的は明確ですか	5
	2	多様な主体が参画できるようになっていますか	5
	3	事業に対する市民ニーズがありますか	5
	4	社会への波及効果や相乗効果を検討しましたか	5
	5	主体間での役割分担を明確にできていますか	3
	6	成果や目標は明確ですか	5
	7	事業の実施計画や収支計画をつくりましたか	5
	8	各主体の立場を理解、尊重することができましたか	3
実 施	9	目標に向かって事業を実現しようと努力しましたか	5
	10	各主体の役割分担を果たしましたか	2
	11	各主体間の協力や連携は良好でしたか	2
	12	必要な時期に情報交換しましたか	4
	13	課題発生への対応は迅速でしたか	4
	14	事業内容の報告をつくり公開しましたか	5
終 了	15	事業の成果目標は達成できましたか	2
	16	市民の満足度は向上しましたか	3
	17	社会への波及効果や相乗効果はありましたか	3
	18	各主体の協働事業に対する理解が深まりましたか	3
	19	事業の規模や予算は適切でしたか	5
総合評価		評価合計	78
		評価平均	3.9

チェック項目を5段階評価

「はい」	5
どちらかといえば「はい」	4
どちらともいえない	3
どちらかといえば「いいえ」	2
「いいえ」	1

記入日	平成17年12月9日	
記入者	所 属	仙台市建設局百年の杜企画課広瀬川創生室
	職 名	主任
	氏 名	相澤浩行

【重点事業の実施概要】

実施事業	広瀬川ホームページの充実	
実施内容	掲示板リニューアル、広瀬川市民会議コーナーの掲載、写真館に30年前の広瀬川の写真展の掲載、広瀬川100選の掲載等、広瀬川ホームページの充実を図った。	
事業を協働した団体	広瀬川市民会議、仙台市	
実 績	数値で表すことのできる成果	トップページアクセス数; 50件/日(平成17年4月~12月平均)
	数値で表すことのできない成果	掲示板による情報交換、NPOの紹介、画像の充実等、多様なニーズに対応した。
実施日	平成17年度	掲示板リニューアル、広瀬川市民会議コーナー設置、写真館に30年前の広瀬川の写真展設置、広瀬川百選を設置
各主体の役割実績	市 民	積極的に活用するとともに、意見・提案を投稿。
	NPO	広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供。
	行 政	広瀬川関連事業に関する情報の提供・公開。
	企 業	広瀬川に関連する行事・イベント情報の提供。

【 自 己 評 価 】

実 績 結 果	
成果目標の達成状況	・目標としていた1日あたりのトップページアクセス数100アクセスに対し、50アクセスと大きく下回る結果になった。
実施上の問題点	・平成17年度の重点事業を決定するうえで、広瀬川創生プラン策定推進協議会の協議を経て、「広瀬川市民会議」にホームページの企画・運営について承諾を得たが、その後、平成17年度に入ってから重点事業の企画・運営に関する協議を申し入れたところ、企画・運営業務を担うことが困難であるとの回答があり、全体の見直しが必要となり、その対応に時間を要した。 ・ホームページの定期利用者の拡大が図れていない。
自己評価結果	・成果目標の達成状況が示すとおり、広範な協働を引き出せなかった。 ・重点事業設定時と事業の準備も含めた実施段階における状況の変化はあったものの、プラン推進初年度における実績としては、非常に残念な結果となった。また、アクセス数の伸び悩みが示すとおり、新たな視聴者の拡大が図られていないことは、ホームページ設置者として大いに反省しなければならない。
今後の課題	・「広瀬川ホームページ」自体の認知度を上げる方策を早急に検討し、実施する必要がある。 ・月別アクセス数を分析すると、「広瀬川の記憶」「広瀬川研究レポート」「私の広瀬川インタビュー」等の更新直後にアクセス数が増える傾向にあり、更なる内容の充実と更新頻度を図る必要があると考えられる。 ・また、河川における活動時期が春から秋にかけて集中しており、これに比例して冬期間のアクセス件数が低下する傾向も見受けられるため、四季に応じた内容についても検討する必要がある。

広瀬川創生プラン・平成17年度重点事業評価票

【重点事業の計画概要】

【重点事業3】	広瀬川利活用マップの作成	
事業の説明	広瀬川をフィールドとして市民活動を展開する際に利活用できる流域別・目的別のマップを作成します。	
事業を協働する団体	広瀬川市民会議、仙台市、沿線の企業・商店	
目 標	数値で表すことのできる成果	第1版の発行を目指します。
	数値で表すことのできない成果	広瀬川を訪れ活動する際の利便性が向上します。
事業スケジュール	平成17年度	仙台城址観光に関連した広瀬川散策マップを作成します。
各主体の役割	市 民	マップを活用するとともに、情報提供や意見を伝えます。
	NPO	事業全般の企画・運営を中心的行います。
	行 政	マップに掲載する情報を提供するとともに、作成したマップを広報します。
	企 業	マップに掲載する情報を提供します。

【 自 己 評 価 シ ー ト 】

段 階	No.	評 価 項 目	評 価
計 画	1	事業の目的は明確ですか	5
	2	多様な主体が参画できるようになっていますか	5
	3	事業に対する市民ニーズはありますか	5
	4	社会への波及効果や相乗効果を検討しましたか	5
	5	主体間での役割分担を明確にできていますか	3
	6	成果や目標は明確ですか	5
	7	事業の実施計画や収支計画をつくりましたか	5
	8	各主体の立場を理解、尊重することができましたか	4
実 施	9	目標に向かって事業を実現しようと努力しましたか	5
	10	各主体の役割分担を果たしましたか	5
	11	各主体間の協力や連携は良好でしたか	3
	12	必要な時期に情報交換しましたか	4
	13	課題発生への対応は迅速でしたか	4
	14	事業内容の報告をつくり公開しましたか	5
終 了	15	事業の成果目標は達成できましたか	5
	16	市民の満足度は向上しましたか	4
	17	社会への波及効果や相乗効果はありましたか	3
	18	各主体の協働事業に対する理解が深まりましたか	4
	19	事業の規模や予算は適切でしたか	5
	20	今後の課題や改善点について話し合いましたか	5
総合評価		評価合計	89
		評価平均	4.5

チェック項目を5段階評価

「はい」	5
どちらかといえば「はい」	4
どちらともいえない	3
どちらかといえば「いいえ」	2
「いいえ」	1

記入日	平成17年12月9日	
記入者	所 属	仙台市建設局百年の杜企画課広瀬川創生室
	職 名	主任
	氏 名	相澤浩行

【重点事業の実施概要】

実施事業	利活用マップの作成→広瀬川ホームページにおける広瀬川100選の掲載	
実施内容	広瀬川利活用マップ作成に向けた準備作業として、広瀬川ホームページ内に広瀬川の魅力を紹介する広瀬川100選を掲載し、情報提供や意見を募集した。	
事業を協働した団体	仙台市	
実 績	数値で表すことのできる成果	第1弾として上流域分の広瀬川100選14ヶ所を掲載
	数値で表すことのできない成果	あまり知られていない広瀬川の魅力スポットの広報。
実施日	平成17年度	1月6日広瀬川ホームページ掲載
各主体の役割実績	市 民	情報や意見を提供。
	NPO	情報や意見を提供。
	行 政	広瀬川100選の作成、広報。
	企 業	情報や意見を提供。

【 自 己 評 価 】

実 績 結 果	
成果目標の達成状況	・広瀬川の魅力スポットを紹介する「広瀬川100選」を利活用マップ作成に向けた準備作業として位置付け「広瀬川ホームページ」に掲載した。第1弾として上流域14ヶ所を掲載。広く市民から情報提供を呼びかけ、利活用マップ作成の参考にしたいと考えている。今後、中流域及び下流域について掲載する予定である。
実施上の問題点	・平成17年度の重点事業を決定するうえで、広瀬川創生プラン策定推進協議会の協議を経て、「広瀬川市民会議」に事業の企画・運営について承諾を得たが、その後、平成17年度に入ってから重点事業の企画・運営に関する協議を申し入れたところ、企画・運営業務を担うことが困難であるとの回答があり、全体の見直しが必要となり、その対応に時間を要した。
自己評価結果	・目標自体を変更せざるを得なかったことは残念であるが、当初の目標である「利活用マップ」につなげられる事業に転換を図ることができた。
今後の課題	・残る中流域・下流域をホームページに掲載し、広く情報提供を呼びかけ、「利活用マップ」の作成につなげたい。そのためにホームページの認知度を一層向上する取組が重要である。